

# きらめき活動 2022

## 県民活動助成事業報告書



自転車を整備してみよう



地域食堂を開催



市民の手による演劇公演



海辺の環境学習会

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

# はじめに



山口きらめき財団では、多くの皆様からいただいた寄付金等を活用し、団体の自立や地域課題の解決に取り組む県民活動団体に対する助成事業（助成金の交付）を実施しています。

この助成事業により、県下各地域の幅広い分野で世代を超えた多くの方々による熱意あふれる活発な活動が展開され、地域の活性化や地域の絆づくりに大きく貢献しています。

この冊子は、令和4年度に当財団が助成した44団体の活動をまとめたものです。

活動団体をはじめ、県民の皆様には是非ご覧いただき、今後の活動の参考として広くご活用いただければ幸いです。

令和6年（2024年）5月

## 「きらめき活動2022」について

- ・団体の代表者名、構成員数、問い合わせ先は、令和6年4月現在のものです
- ・「活動現場レポート」は、当財団職員が訪問した活動の現場の状況を掲載しています



# 目次

## 2022年度 きらめき活動助成事業助成金交付団体



### ◆自立支援ゆめプログラム

しゅうなんまちなか保健室	…	1
Kikkake(きっかけ)	…	2
スマイル津布田	…	3
Thinkサイクリング山口	…	4
OHaGi	…	5
一般社団法人 環境リサーチ	…	6
さくらの守人	…	7
遊びと育ちのインクルーシブ架け橋会	…	8
特定非営利活動法人 NO BORDER	…	9
みんな食堂アルトス	…	10
森のなかまたち	…	11
LFDXアテンダント	…	12

「鹿野の風」プロジェクト	…	23
埴生てる	…	24
花の咲く夕日の里づくりの会	…	25
木暮実千代の会	…	26
明日を紡ぐ大地の会	…	27
市民劇団キラリ☆彡	…	28
山口ジャズメッセ実行委員会	…	29
伊保庄童謡・ハンドベルの会	…	30
ESDうべ推進協議会	…	31
東岐波里海再生の会	…	32
屋代島さとうみネットワーク	…	33
特定非営利活動法人 ぼうぼうネット	…	34
チャイルドサポートwith	…	35
一般社団法人 Sふらす	…	36
特定非営利活動法人 森と海の学校	…	37
特定非営利活動法人 もりのこえん	…	38
まんま会	…	39
やないしらかべ『絆』ねっとわーく	…	40
有帆竹灯会	…	41
やまぐち婚活カレッジ	…	42

### ◆課題解決支援はなプログラム

メイクボランティア団体きらめ輝山口	…	13
認定特定非営利活動法人みらいプラネット	…	14
山口の朗読屋さん	…	15
いちご会(一期一会)	…	16
Art of Hosting山口・福岡実行委員会	…	17
室積まちぐるみ協議会	…	18
柳井桜土手を守る会	…	19
柳井市白壁の町並みを守る会	…	20
廃校再生サミット／山口	…	21
山口ジビエサミット	…	22

### ◆文化芸術支援つむぎプログラム

Do a Front	…	43
シュルンマーリートインターナショナル コンサートの会	…	44

**団体名** しゅうなんまちなか保健室 (周南市)

代表者名	小野 薫	団体の目的 ・ 周南市の地域住民に対して気軽に医療福祉の専門職等とつながる場を提供することで、生まれてから人生の最期を迎えるまで、自分らしく生き生きと暮らせるまちの実現に寄与する
構成員数	12人	
設 立	2021年3月	
問い合わせ先	<a href="https://s-machinaka-h.com/">https://s-machinaka-h.com/</a>	

**事業名** 「しゅうなんまちなか保健室」の広報ツール作成事業

**事業の目的**

- 広報ツールの作成により、多くの人の共感を集め、当会の活動を広く周知する

**事業の内容**

- 団体のロゴマーク作成
- 団体や活動啓発のための広報(プレゼン)資料の作成  
テーマカラーを爽やかなスカイブルーとし、それを基調に全て統一的なデザインのツールを作成した。イラストや図を多く取り入れ、あらゆる年代の人にとって、分かりやすく共感してもらえるものとなった

作成されたロゴ▶



**事業の成果**

- 親しみ、共感を覚えるロゴや、分かりやすいプレゼン資料等、多くの方に興味を抱いていただけるような広報ツールが完成した。これをもって今後様々な場面で、団体や活動のPRを行っていききたい
- 今後はホームページを作成し、オンライン上で広く広報活動を行い、賛同者や協力者を募っていききたい

**活動現場レポート**

キックオフ講演会「しゅうなんまちなか保健室と私らしく暮らせるまちづくり」  
日時：2月18日(土) 13:30~ / 周南市学び交流プラザ多目的ホール

- ◆ この日は、しゅうなんまちなか保健室を今後地域で拡げていくため、地域住民や関係組織(病院、看護学校、行政等)等から理解を得ることを目的とした「キックオフ講演会」が行われました。
- ◆ 講師は「暮らしの保健室」室長で、NPO法人マギーズ東京代表の秋山正子氏。秋山氏は、誰もが看護師等の医療の専門家へ健康や介護や暮らしの中での様々な困りごとの相談ができる場をつくりたいと「暮らしの保健室」を立ち上げ活動されており、現在、全国の50カ所以上の地域で各地の有志によってこの「保健室」が設置運営されているとのことでした。
- ◆ 講演会後は、県内でがんや精神疾患等の患者・家族のピアサポートを行っている団体、講師の秋山氏、当会の小野代表を交えたシンポジウムが行われました。  
当会の目指す「暮らしの保健室」が、「地域の人たちが気軽に相談でき、適切な情報の提供や早期に支援機関と繋がることのできる場にしてほしい」と、多くの皆さんから期待を寄せられていることが伝わりました。



講演会の様子

団体名 **きっかけ Kikkake** (山口市)

代表者名	池田 恭子	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学びを通じて仲間、やりがいなど新しい価値の“きっかけ”を応援する</li> </ul>
構成員数	3人	
設立	2020年9月	
問い合わせ先	<a href="https://www.instagram.com/kikkake_yamaguchi/">https://www.instagram.com/kikkake_yamaguchi/</a>	

事業名 **あみちくinさぼらんて 一緒にハンドメイドを楽しむ会**

#### 事業の目的

- 気軽に縫物、編み物、工作などを楽しみながら体験することでハンドメイドを始めるきっかけを応援する
- きっかけづくりを支援する活動に必要な機材(ロックミシン、アイロン等)を揃える

#### 事業の内容

- 必要な機材(ロックミシン、アイロン、アイロン台)の購入
- きっかけづくりのイベント「あみちくinさぼらんて」を開催(毎月第1・第3金曜日10:00~)し、体験の機会を提供
- 活動の報告やミシンの使用についてSNS等で広報

#### 事業の成果

- ハンドメイドは誰もが手軽に始められる社会学習の一つだが、道具の準備や始められる広いスペースの確保は個人で準備するのが難しく、社会学習の機会を妨げている。今回、ロックミシンを使用できる体験の場を作ったことで、参加者もこれまでより増え、色々な方に「きっかけ」を提供することができた
- ロックミシンを使用して布トンネルを制作したことで、子どもたちに楽しんでもらえるツールを作成することができた。今後も活動の周知や集客という面で活用していくことができる
- 引き続きネットを活用して告知や報告を定期的に行い、活動を地域に広く周知していきたい

#### 活動の写真



あみちくイベントの告知



作成した布トンネルは子どもに大人気!



ハンドメイドを楽しむ参加者

**団体名** **スマイル津布田** (山陽小野田市)

代表者名	松井 由行	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統あるイベントを引き継いで地域を元気にし、津布田地域の魅力を市内外に発信し、関係人口、交流人口の増加を図る</li> </ul>
構成員数	21人	
設 立	2022年3月	
問い合わせ先	smile.tsubuta@gmail.com	

**事業名** **津布田地域を未来へ繋ぐ事業**

**事業の目的**

- 津布田小学校、保育園が廃校・廃園となることをきっかけに起こった地域の将来への不安を払拭し、地域を未来へ先導する
- 現役世代を中心に、地域の伝統あるイベントを引き続き開催することで津布田の魅力を発信し、交流人口の増加を図る

**事業の内容**

- 季節ごとの地域イベントを開催  
津布田会館の桜のライトアップ、手作りの門松や竹灯ろうを設置して新年を迎える年越し事業、七草摘み（地域の住民と子どもたちが一緒に歩きながら野原で採取）、どんと焼き、キャンプ等
- 清掃活動  
津布田地域の全域を対象に、地域住民とともにゴミ拾いや花壇の整備、カーブミラーの清掃を実施
- 旧津布田小学校の動画作成と配信  
旧小学校とその近郊をドローン等を使って撮影し、編集してyoutubeで配信
- 啓発チラシの作成と会員の募集

**事業の成果**

- 清掃活動は会を追うごとに参加が増え、地域の方々の美化意識の向上に繋がった
- 旧津布田小学校を使ったイベントを通して、久しぶりに地域でたくさん子どもたちが一緒になって喜ぶ姿を見ることができた
- チラシやyoutubeを通して、多くの方に団体を知ってもらい、思いや活動に共感していただくことができ、結果会員が13人増えた。地域づくりに積極的に参加する機運を地域全体に醸成することができた

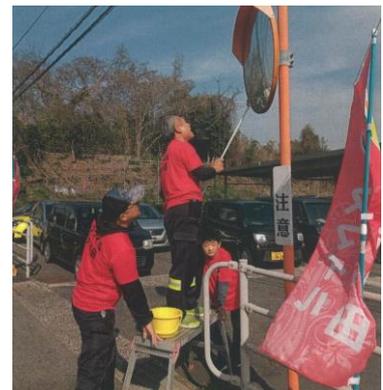
**活動の写真**



どんと焼き



旧小学校を活用して皆なでキャンプ



津布田クリーン作戦

## 団体名 Thinkサイクリング山口 (山口市)

代表者名	弘重 公朗	団体の目的 ・ 自転車利用・活用環境をハード、インフラ、ソフト、ハートの4要素で考え、自転車市民権の獲得と自転車多様性の共通認識化を目指す
構成員数	14人	
設 立	2022年3月	
問い合わせ先	<a href="http://www.bike-joy.com/TCY.htm">http://www.bike-joy.com/TCY.htm</a>	

### 事業名 自転車さんぽ開催及び自転車月間スクール実施要領作成事業

#### 事業の目的

- 「情報発信」「人材交流」「提案型ソフト(イベント)」を活動の三本柱として、地域貢献型のマルチサイクリングクラブの見本を示す

#### 事業の内容

- 活動のスタートアップ企画「紅葉の自転車さんぽ2022」を開催

開催期間	11月13日～12月4日	開催場所	岩国市、宇部市、長門市、萩市、山口市	エントリー	延べ27人
内 容	マップを片手にクイズを解きながら自転車でトレジャーポイントを回る企画を開催				

- 自転車月間スクールの実施要領を作成するため、自転車さんぽを始めとした、当会がこれまで実施してきた様々なイベントを検証した。また、情報提供フォームやカレンダーのひな型を構築し、今後のイベントがスムーズに実施できるよう準備を進めた

#### 事業の成果

- 自転車さんぽ企画には行政機関や観光協会からの参加もあり、少しずつではあるが当会の活動への認知度が高まりつつある
- 自転車に関する法律の改正に標識の変更が追い付いていない状況や、駅前や商店街、交差点などで通行方法があいまいな状況が散見されることから、それに対応したマップや説明をする等の工夫を今後も試行錯誤していく必要があることが分かった
- 今後も活動を継続し、自転車の日常利用とスポーツ利用の架け橋を模索していきたい

#### 活動の写真



家族一緒に「自転車さんぽ」に参加。地域の名所ポイントを巡りました

おはぎ  
**団体名** **OHaGi** (萩市)

代表者名	藤原 昌隆	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ(陸上競技・ランニング)を通じた体力向上、健康増進、子どもから大人までの幅広い世代の交流できる場の創出</li> <li>全国の舞台で活躍できる選手の育成</li> </ul>
構成員数	12人	
設 立	2020年7月	
問い合わせ先	ohagi.running@gmail.com	

**事業名** **陸上競技・ランニング振興事業**

**事業の目的**

- 地域に元気・活力を提供し、健康的な生活を送る手助けをする
- 陸上競技に興味のある方に貴重な機会を提供する
- 部活動の地域移行制度を安心して迎えることができるよう、事業を通して準備を進める

**事業の内容**

- 青山学院大学陸上競技部コーチによる実技指導

開催日	① 7月30日 ② 10月22日	開催場所	①萩市立萩西中学校 ②田町商店街アーケードJOY21	参加者	①68人 ②21人
内 容	対面とオンラインの2回、萩市民及び市内の中学生を対象に、「青トレ」(コアトレーニング・ストレッチ)指導を実施				

- 部活動地域移行に関する意見交換会及び説明会

開催日	① 7月30日 ② 10月22日 ③ 1月15日	開催場所	①萩市立萩西中学校 ②田町商店街アーケードJOY21 ③萩市明倫小学校	参加者	①68人 ②21人 ③83人
内 容	部活動の地域移行に関して指導者やスタッフと意見交換を行うとともに、パンフレットを配布したり対談形式で制度を紹介したりと広く市民に説明し、周知を図った。				

- 広報ツールとしてのぼりやパネルを作成

**事業の成果**

- 令和5年4月から中学校部活動の地域クラブ活動への移行が始まるが、本市においては陸上競技部に対する地域の受け皿が不足している状況。本団体としてはこの課題の解決の糸口になりたいと考えており、制度の周知や合同練習の提案、今後必要になってくるオンライン指導の導入等を準備することができた
- 今後も部活動の地域クラブ活動への移行が円滑に行われるよう支援するとともに、指導者としてのスキルアップを目指し、萩市における陸上競技力向上に貢献していきたい

**活動の写真**



青学コーチによる現地指導



オンラインで「青トレ」



中高生への指導

## 団体名 一般社団法人 環境リサーチ (宇部市)

代表者名	戸坂 隆男	団体の目的
構成員数	3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>造園、土木、建築、樹木医、自然再生士等の専門知識と技術の活用を通じて、快適で安心・安全な環境づくりの実現を目指すことにより社会貢献する</li> </ul>
設 立	2019年4月	
問い合わせ先	TEL 0836-58-2185	

### 事業名 白砂青松を呼び戻せ

#### 事業の目的

- 岐波海岸に存在する松林の維持管理や、林内に癒しの散策道を作ることで、精神的な安定・安心・癒し等を求める人たちに心のリフレッシュを提供する

#### 事業の内容

- 宇部市の波雁ヶ浜内の松林において、松林の清掃（松葉、枯れ枝や危険枝の撤去）を実施
- 松林内に「癒しの小道」を整備  
松林内の幹の色や葉の緑を見たり、香り（フィトンチッド）を楽しみながら散策できる小道になるよう、真砂土を入れ、機械で整地を行った。簡単な椅子も設置し誰もが休憩できるスペースに整えた
- 東岐波小・中学校の環境学習として松林の清掃・管理・学習を実施

#### 事業の成果

- 安全に松林の中を散策でき、「緑の力」「癒しの空間」「古木の歴史の重み」が体感できる場となった
- 松林には江戸時代（享保年間）に砂防林となるように植えられた日向松の大木もあり、支柱を付ける等の保護活動も併せて行うことができた
- 今後も散策道の整備や整地は継続して実施し、お年寄りにも歩きやすく、より癒しの小道となるようにしていきたい

#### 活動の写真



重機を使って小道を整備



松の古木には支柱を付けて支える

## 団体名 さくらの守人 (山口市)

代表者名	水津 久美子	団体の目的 ・ 桜の木に発生した、てんぐ巣病の除去選定作業や薬剤の塗布などの活動を行い、観光資源を守るとともに緑化保護を進める
構成員数	20人	
設立	2021年1月	
問い合わせ先	sakurarui1093@gmail.com	

### 事業名 桜の木の保護及び廃枝の活用、地域活性化、人材育成事業

#### 事業の目的

- 地域の桜の木（徳地伏野河川公園）が、てんぐ巣病の蔓延で深刻な状態となっており、木が弱ったり枯れてしまっている状況を広く知っていただき、現地調査や講習会を行う中で地域全体で地域の桜を守っていきけるよう啓発する

#### 事業の内容

- 剪定治療会の開催・・・徳地伏野河川公園にて会員を中心に実施。のこぎり等を使用して病気の枝や枯れてしまった枝を剪定（11月）
- 剪定講習会の開催・・・熊毛の勝間公園を管理している団体との講習会を開催（2月）
- 桜の木を使ったワークショップでの啓発  
地域のイベント等に参加し、活動を広報するとともに誰もが参加できる体験型ワークショップを開催  
桜染め、廃材でのランタンづくり、小枝を使った小物づくり等（7月・9月・12月）
- 「クイズラリー」イベントの開催・・・徳地伏野河川公園にて啓発クイズラリーを開催（3月）

#### 事業の成果

- 剪定治療会の開催により、徳地伏野河川公園の桜並木の一部がかなり健康になり、花の付きが良くなった。見た目も綺麗になったので、今後多くの方が訪れていただけることを期待したい
- イベントへの出展や地元テレビでの啓発により、団体や活動の知名度がアップした。地域外の方との講習会も開催でき、活動が地域外に広がりつつある。新しい技術や知識を得るきっかけにもなった
- 地域の中学生に講義を行う機会も得たことで、地域の中での活動の幅も広がり、認知度も向上し、協力者も増えつつある
- 剪定時期が冬季だけであるため、年間を通して冬に向けての啓発を常に行っていく必要がある。人員の確保・獲得を今後も積極的に進めていきたい

#### 活動の写真

高校生へのワークショップ



桜の剪定作業の様子（時には高所作業車も使用）



## 団体名 遊びと育ちのインクルーシブ架け橋会 (岩国市)

代表者名	橋本 尚理	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある子どもが、それぞれの特性に応じ、自らの力を生き生きと発揮し、安心して遊び育つことができる環境づくりに寄与する</li> </ul>
構成員数	81人	
設立	2021年8月	
問い合わせ先	hashimoto_naomichi@tiara.ocn.ne.jp	

### 事業名 第2回「ふくろう公園インクルーシブDAY」

#### 事業の目的

- 障がいのある子どもやその家族が人の目を気にせず安心して利用できるように、障がいのある子とない子が一緒に遊べるインクルーシブな環境をつくる

#### 事業の内容

- 第2回「ふくろう公園インクルーシブDAY」の開催

開催日	5月15日(日)10:00~15:00	開催場所	岩国市愛宕山ふくろう公園	参加者	527人
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型遊具や様々な施設を整備した「ふくろう公園」で、障がいのある子やその家族が安心して利用できる「インクルーシブ」な環境をつくり一日を通して楽しんでいただくイベントを開催</li> <li>岩国医療センター附属看護学生80人を始め、総合支援学校の教員や自衛官、米海兵隊岩国基地隊員等236人がボランティアスタッフとして参加</li> <li>会場を大型遊具のエリア、コンサートエリア、スポーツエリア等に分け、音楽等のイベントや遊具、輪投げやボーリング、ストライクアウト等を実施。一日を通して楽しんでもらった</li> </ul>				

#### 事業の成果

- 保護者からは多くの感謝のアンケートをいただき、障がいのある子に記憶に残る日を提供できた
- 多くの機関からの協力が得られ、インクルーシブの意味を知ってもらえた
- 障がいのある子を持つ親同士の交流が進み、子育てへの心配や不安、悩みを和らげることができた
- 特に看護学生には障がいのある子に接していただけたことで、看護師として色々な人とのつながりの大切さを感じてもらえる貴重な体験となった
- 今後もより企画をブラッシュアップしながら継続して開催していきたい

#### 活動の写真



公園で楽しく遊ぶ子ども達

## 団体名 特定非営利活動法人 NO BORDER (光市)

代表者名	松本 奈津美	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや障がいのある人達を中心に、多くの世代や環境に対して、イベントなど個人や団体が繋がる取組を促進し、子どもたちの平等な教育環境とボーダーレスに向けた意識づくりに寄与する</li> </ul>
構成員数	167人	
設立	2020年8月	
問い合わせ先	<a href="https://www.kodomira.com/no-border/">https://www.kodomira.com/no-border/</a>	

### 事業名 可能性育成・発信事業

#### 事業の目的

- 「みんなで作る発信イベント」を開催し、団体や活動の認知度アップとともに組織力の強化を図る
- ダンスイベントの表現者としてだけでなく、皆なで創りあげてを意識し、経験値を上げる

#### 事業の内容

- “子ども達の明るい未来に向かって 想いmovement” ステージパフォーマンス「ONE～ひとりから、ひとつに～」を開催

開催日	3月25日(土)12:30～	開催場所	光市民ホール 大ホール
内容	市内のダンスサークルの活動発表とともに、障がいを持った子どもたちによるステージや手話を踊りに組み込んだ「手話ダンス」を披露		

- イベント開催の準備として、手話ダンスの紹介や子どもたちによる写真や動画の発信等を実施

#### 事業の成果

- 子どもたちの様々な可能性を拡げることができ、団体の周知はもとより、メンバー間の組織力の強化を図ることができた
- ステージに立ち、子どもたち自身の思いを表現することで、自己肯定感の向上や、手話やダンスを使った表現など言葉以外の自己表現、他者とのコミュニケーションを学ぶことができた
- 今後も本事業の活動等を発信し、当会の活動意義を広く理解・共感してもらい、より多くの人々が自分らしさのびのびとできる環境を創出したい

#### 活動現場レポート 「ONE～ひとりから、ひとつに～」 日時：3月25日(土)12:30～/光市民ホール 大ホール

- ◆ この日は、下松市・光市の小中高校生のダンスパフォーマンスグループによる合同発表会が当会の主催で行われ、個性を生かした30組以上のパフォーマーが集合し、それぞれのパフォーマンスを観客に披露されていました。
- ◆ NO BORDERの子どもたちはそれぞれ別のダンスチームに所属しながらも「手話ダンス」を通じた仲間であり、楽曲に合わせた手話を取り入れた元気なダンスを披露されました。手話が振付のようにダンスに溶け込んでおり、時に優雅な動きにも見えとても新鮮でした。
- ◆ 特別ゲストとして、障がい児・者の入所者で結成された「ダイヤモンド」というチームも参加されており、精いっぱいのパフォーマンスをされ、会場からは温かい拍手とエールが贈られていました。



個性あふれるパフォーマンス



## 団体名 みんな食堂アルトス (周南市)

代表者名	住山 芳子	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で子どもたちや高齢者がますます困窮している状況の中、「誰一人残される人の無いよう」にすることを目標に、ボランティアとしてこの地域に安全と潤いと多世代交流をもたらすために地域に貢献する</li> </ul>
構成員数	10人	
設立	2021年4月	
問い合わせ先	yoshikosan34@gmail.com	

### 事業名 みんな食堂アルトス

#### 事業の目的

- あらゆる世代が子どもたちを中心につながり、地域の絆を育むこと

#### 事業の内容

- 毎月1回、第3土曜日に地域食堂を開催(年間12回開催/参加者:延べ約840人)
- 活動に賛同いただいている店舗やフードバンクからフードロス規格外野菜やお菓子、食料品を提供いただき、食事にも使用するとともに会場内で無料配布
- 食堂の開催と同時に、参加者を対象としたワークショップ(健康講座)やミニイベント(宝探し、じゃんけんゲーム、餅つきなど)を開催し、多世代が楽しく交流できる場を提供

#### 事業の成果

- 継続開催により、地域の方々に受け入れられつつある
- ボランティアとして参加してくれている高校生、大学生の子どもたちへの関わり方が上手になってきた若い方の参加によってシニア層が元気になり相乗効果が見られる
- 子どもたちが遊びを通して、多世代の方とのふれあいが生まれ、交流できるようになった
- 会を重ねることで地域の事情が少しずつ理解できた。貧困の家庭の把握や対応がスムーズに行えるようになった
- 規格外野菜や食品の配布等で地域の食品ライフラインとなってきた

#### 活動現場レポート 「みんな食堂アルトス」 日時：11月19日(土) 11:30~/下松カトリック教会

- ◆ この日は、コロナ禍での食品配布から久しぶりに対面式で食事提供をするということもあり、スタートの11時から多くの人でにぎわい、1日を通して約80人の利用者がありました。
- ◆ 広島県の「広島マック」(アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症で苦しんでいる方の支援団体)からのボランティア応援もあり、会員や地元のボランティアと合わせて約20人弱のスタッフで運営されていました。
- ◆ 唐揚げとカレーの配食の他、子どもたちにはフードバンクからのお菓子や綿あめの無料提供もあり、青果市場から売り物にならないと提供を受けた野菜の無料配布やみかんや柿の詰め放題等、色々なメニューが用意されていました。
- ◆ 小さな子どもたちの楽しそうにお菓子を選んだり、テントでお父さん、お母さんとカレーを頬張ったりする姿がとても印象的で、スタッフの皆さんもとてもやりがいを感じているとのことでした。



食堂の様子

**団体名** 森のなかまたち (山陽小野田市)

代表者名	中村 夏江	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンドメイドを愛する会員相互の親睦を図り、技術の向上及び芸術性感性の醸成、さらに諸々の活動を通じて人格的向上、地域への社会貢献を図る</li> </ul>
構成員数	12人	
設 立	2021年7月	
問い合わせ先	<a href="https://mnakamatachi.wixsite.com/morinonakamatachi">https://mnakamatachi.wixsite.com/morinonakamatachi</a>	

**事業名** ハンドメイドマーケット「森のバスケット」

**事業の目的**

- ブックドライブ、フードドライブの取組を知ってもらい、将来を担う子どもたちへの支援に重点を置いたSDG'sの取組に関心を持ってもらえるきっかけを作る
- イベントを通してハンドメイドの楽しさとワークショップによる表現の自由を体験していただき、芸術性や感性を深めることのできる機会を作る

**事業の内容**

- ハンドメイドマーケットの開催  
年3回(4月、9月、2月)、おのだサンパークにおいて開催。1回のイベントで約1000人の参加
- フードバンク山口と連携してフードドライブを開催
- ブックドライブ(絵本交換)を行い、集まった本を有帆小学校や高泊小学校等に寄贈
- アウトリーチ活動として地元のイベント等に出展し、イベントの盛り上げに貢献
- 広報ツールとして団体や活動を紹介するチラシを作成し啓発

**事業の成果**

- チラシ等の広告宣伝を拡大することでイベントと団体の認知度を高めることができた  
また、当初予定していなかったラジオ出演、ホームページの開設等にも繋がった
- ブックドライブやフードドライブを啓発できたので、将来を担う子どもたちへの支援に重点を置いたSDG'sの取組に多くの方に興味を持ってもらうことができた
- 地域のイベントへの出演により、社会貢献をする場が増えた。この活動を今後も継続し、地域への周知・定着に努めるとともに、芸術性や感性を深める機会の創出やSDG's活動に積極的に取り組んでいきたい

**活動の写真**

イベント告知チラシ



アウトリーチ活動の様子 (秋吉台国際芸術村)



## 団体名 LFDXアテンダント (宇部市)

代表者名	山本 健二	団体の目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティのサポートを行い、デジタル機器を使用した講習会やデジタル化推進の相談会等を通して住民に寄り添った地域課題の解決に貢献する</li> </ul>
構成員数	5人	
設 立	2022年2月	
問い合わせ先	小羽山ふれあいセンター ☎ 0836-31-3677	

### 事業名 小羽山地区のDXサポート事業

#### 事業の目的

- 地域のDX(デジタルトランスフォーメーション=デジタル技術を活用して社会や生活の形をより良くすること)サポートを行い、住民に寄り添った地域課題の解決を図る

#### 事業の内容

- 団体や活動の周知の一環として、講習会の開催やリーフレットを作成

##### ①「おばやま探検五七五」の開催

開催日	11月13日(日)9:00~12:00	開催場所	宇部市 小羽山地域一帯
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小羽山地域の資源を活かしたリーフレットを作成・配布し、地域にある歴史的なポイントや危険情報等、面白解説付きの地域散歩を実施</li> <li>・住民同士のコミュニケーションを図りつつ、当会の活動への理解と認知を進めた</li> </ul>		

##### ②シニア向けスマホ講習会の開催

開催日	11月25日(金)、29日(火)13:30~15:30	開催場所	小羽山ふれあいセンター
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のスマートフォン及びPC、タブレット端末使用に関する相談を対象とし、よろず相談会を実施し、マンツーマンで各自のペースに合わせたサポートを行った</li> <li>・相談の8割がスマホを上手に使用したいという悩み相談だったため、基礎から学べるレジュメを作成</li> </ul>		

#### 事業の成果

- コミュニケーションを重視したサポートにより、デジタル機器の楽しさを伝え、住民の不安感を払しょくすることができ、微力ではあるが地域内の情報格差(デジタルデバイド)の解消につながった
- 地域を巻き込んだ活動を行ったことで、多世代におけるにぎわいや協力体制が生まれた
- 今後も地域のニーズを把握し、ICT等を上手に利活用して地域の課題解決に取り組んでいきたい

#### 活動の写真



「おばやま探検五七五」開催の様子



スマホの使い方を分かりやすく学ぶ